

普及現地情報

発信年月日：令和2年(2020年)5月26日
所属名：湖北農産普及課
番号：G20004
部門分類：120(麦・豆・雑穀)
発信者名：松嶋、川村容

採種麦ほ場の株選り作業を実践支援

4月10日および5月22日に長浜市高橋町の大麦(ファイバースノウ)の原種栽培ほ場で、生育の揃った種子を生産するために株選り作業の現地研修を農業技術振興センター栽培研究部と連携して実施しました(出席者は種子生産者、滋賀県種子センター担当者、JA担当者の5名)。

湖北地域では小麦の単収が黒節病、縞萎縮病などの病害や凍霜害などによって低下する状況が続いていたため、大麦に切り替えられ、令和2年度では約900haまで拡大しています。そこで、種子の確保が急務となり、令和元年度より高橋町営農組合(長浜市高橋町)が採種麦の栽培に取り組まれています。当営農組合で、令和元年10月に原々種を46aに播種、令和2年5月に原種を採種、令和2年10月に原種を1,200aで播種する計画となっています。

現地研修では、株選りの基準とともに雑草抜き取りの徹底を共有しました。併せて、収穫後の保管方法についても確認されました。

当課では、令和3年度のは場審査および生産物審査に向けて良質な種子生産ができるよう、引き続き支援していきます。



開花期の現地研修(4月10日)



成熟期の現地研修(5月22日)